

VI 計画の構成



基本理念

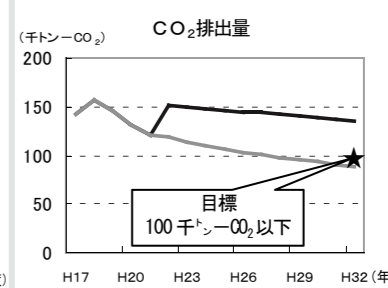
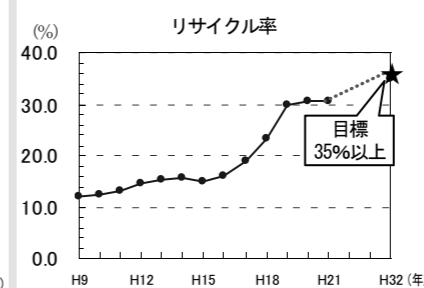
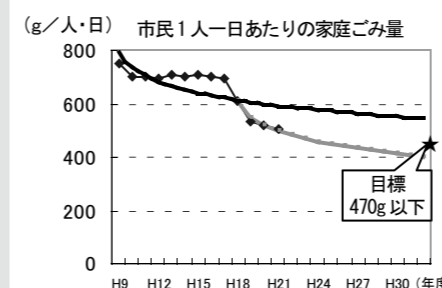
市民・事業者・NPO・行政など地域社会を構成する各主体が主体的・協動的に

3R・適正処理に取り組むことを通じ、“持続可能な都市のモデル”を目指します。

目標

《一般廃棄物》

- ◆ 市民1人一日あたりの家庭ごみ量
平成21年度：506g ⇒ (平成27年度：495g以下) ⇒ 平成32年度：470g以下
- ◆ リサイクル率
平成21年度：30.4% ⇒ (平成27年度：32.5%以上) ⇒ 平成32年度：35%以上
- ◆ 一般廃棄物処理に伴い発生するCO₂排出量
平成21年度：122千トン-CO₂ ⇒ (平成27年度：115千トン-CO₂以下) ⇒ 平成32年度：100千トン-CO₂以下



《産業廃棄物》

- ◆ 本市の産業廃棄物の適正な処理の推進と最終処分量の削減

《生活排水》

- ◆ 生活排水処理率
平成21年度：99.2% ⇒ (平成27年度：99.3%以上) ⇒ 平成32年度：99.4%以上

計画の視点

- ① 循環資源の性質に応じた規模の循環圏の形成に向け、ものづくりのまちとしての地域特性を活かした
「最適な『地域循環圏』の構築」
- ② 循環型の取組みをさらに推進し、低炭素、自然共生の取組みを加えた
「低炭素社会、自然共生社会への貢献」
- ③ 本市に蓄積するごみ処理・リサイクルの技術や人材等の基盤を活用した
「環境国際協力・ビジネスの推進」

関係者に期待される役割

- | | | |
|---|------------------|--|
| <p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ライフスタイルの見直しなどの推進 ○ 環境学習、環境保全活動への参加・協力 | <p>連携
協調</p> | <p><事業者></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業者としての社会的責任を果たす ○ 情報公開等を一層推進する |
| <p><NPO等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「集団回収」等の積極的な取組み ○ 各主体の連携・協働のつなぎ手 ○ 環境学習、ソーシャルビジネス等の実施 | | <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コーディネータとして各主体の行動の促進 ○ 地域特性に応じた取組みの実施 ○ 持続可能な取組みの率先 |

取組みの方向性

1. 最適な「地域循環圏」の構築

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| (1) 家庭ごみの減量化・資源化の推進 | (4) ごみ処理の広域連携 |
| (2) 事業系ごみの減量化・資源化の推進 | (5) 産業廃棄物排出量の減量化・適正処理の推進 |
| (3) ごみ処理施設の今後のあり方 | |

2. 低炭素社会、自然共生社会への貢献

- | | |
|---------------------------|----------------|
| (1) 廃棄物処理における低炭素化・自然共生の推進 | (5) 海岸漂着物等の処理 |
| (2) 環境教育、普及啓発の充実 | (6) まち美化対策の強化 |
| (3) ごみ処理事業の効率化と市民サービスの向上 | (7) 生活排水の適正な処理 |
| (4) 不法投棄防止対策 | |

3. 環境国際協力・ビジネスの推進

- | | |
|---------------------|--|
| (1) 環境産業の創出・育成・支援 | (4) 環境国際協力・ビジネスの促進 |
| (2) 環境分野における技術開発の促進 | (5) 事業活動における循環利用の推進 |
| (3) 産業の環境化 | (6) 環境に配慮した消費者(グリーンコンシューマー)の育成、グリーン購入の推進 |